

「第5次戸田市教育振興計画（案）」についてのご意見に対する回答

＊貴重なご意見ありがとうございました＊

案 件 名 第5次戸田市教育振興計画（案）について
意見募集期間 令和7年12月9日（火）から令和8年1月9日（金）まで

パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、11名の方から31件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

	ご意見の内容	市からの回答（対応）
1	「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「探究的な学びの推進」などを各学校が安定的・継続的に実装していくためには、校内研修の質の保証や指導事例の共有、外部人材の効果的活用など、現場を具体的に支える仕組みが重要になると考えます。単発的な研修にとどまらず、学校の実態に応じた伴走型支援や複数年を見通した教員の学びの設計がより明確に示されることで、計画の理念が確実に授業改善につながるものと考えます。	方針1の施策や取組の実現に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。なお、いただいた具体的な御意見につきましては、計画の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。

2	在校等時間の縮減という量的指標のみならず、教職員が授業や子供理解に向き合える時間がどれだけ確保されているか、校内の協働体制やマネジメントがどの程度機能しているか、といった質的側面も含めた評価や支援の視点が加わることで、働き方改革が「教育の質を高める改革」として一層定着すると考えます。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針1の主な施策である『令和の日本型学校教育』を支える学校の働き方改革の加速と、教師の指導力の向上」に取り組む際に、各具体的な取組をよりよいものに改善していくための参考とさせていただきます。
3	方針2に示された多様な支援施策は、今後ますます重要性を増すものです。とりわけ、不登校支援や医療的ケア、福祉機関との連携については、学校だけで抱え込むのではなく、行政・専門機関・地域が役割を分担し、学校が「ハブ」として機能できる体制の構築が不可欠だと考えます。本計画に基づき、学校外の専門性をより柔軟に活用できる仕組みや、管理職・担任が安心して相談できる明確な窓口が整備されることを期待します。	方針2の施策や取組の実現に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。なお、いただいた具体的な御意見につきましては、計画の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。
4	EBPMを計画の核に据え、モニタリング指標を明示している点は大きな強みです。今後は、これらのデータが行政内部の評価にとどまらず、学校現場に分かりやすく還元され、改善に生かされる循環が重要になります。数値の比較や達成度の提示に加え、「なぜその成果が生まれたのか」「次に何を改善すべきか」といった示唆が共有されることで、学校現場の主体的な改善につながると考えます。	モニタリング指標の活用等に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。なお、いただいた具体的な御意見につきましては、計画の実施段階において、単なる数値のみの評価にとどまらず、その背景や要因に目を向け学校現場のよりよい改善につながるサイクルを生み出せるよう留意して取り組んでまいります。

5	一人一人の「好き（興味・関心）」を育み、得意を伸ばす」という教育理念について、自分の「好き」なことから始まることは、自分ごとに捉えていきながら、だんだん視野を広くしていくことにつながり、他者理解にも発展していくものと考えます。また、自分の「得意を伸ばす」ことは、一つにこだわりをもち、その分野なら誰にも負けないことが一つあるだけで、その子のアイデンティティにつながることからとても重要なことととらえています。	教育理念の実現に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。
6	誰一人取り残されることなく、誰もが互いの多様性を尊重し、いきいきと共に高め合う学びの実現は、現在の学校現場にはとても重要であると考えています。そのために様々な施策を考えていくことは、学校現場を応援することにつながり、大きなバックアップにもなります。	方針2の施策や取組の実現に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。
7	産官学と連携をし、学校教育にプラスになる視点を取り入れながら授業や研修を進めていくことは、教師側も元気をもらって新しいことに取り組もうという意欲につながるとともに結果子供たちにもプラスになると感じます。	産官学との連携に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。
8	実態として、入学して間もない1年生が小学校に馴染んでいくには、かなりの個人差があります。幼保小の架け橋プログラムの充実には欠かせない視点だと感じました。	「幼保小架け橋プログラム」の促進に当たって、幼保小の架け橋期における教育活動の充実につながるよう取り組んでまいります。

9	すべて大切なことだと思いますが、すべてをしっかりと網羅していく難しさも感じます。それぞれの学校で児童の実態に合わせ、重点をしっかりと見極め、取り組んでいかなければすべてが表面的にしか取り組めないと感じたので、それぞれの学校での取組も重要だと感じました。	計画全体の実現に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。各学校が、本計画で掲げる教育理念と方針を軸に自主性を発揮し、それぞれが強みを生かした教育活動を展開できるよう学校現場の実態も踏まえた取組を実施してまいります。
10	方針2に関係するモニタリング指標として「1歳8か月健診、3歳6か月健診の平均受診率」とありますが、この指標で把握する取組はどのようなものを想定しているのでしょうか。おそらく、「子供の健全育成を支援するための福祉機関等との連携強化」に関わる取組だと思いましたが、学校教育や社会教育でどのようなことを期待されているのかが分かるとよいと思いました。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針2の具体的な取組である「子供の健全育成を支援するための福祉機関等との連携強化」の実施段階において、子供の成長や発達段階に応じた切れ目のない支援につなげてまいります。
11	「教育理念」がとてもよいと感じています。変化の激しい社会を生き抜いていく戸田の子供たち、市民の育成に向け、新しい教育振興計画に期待しています。この高い志を掲げた計画が、現場の先生方の創意工夫を後押しし、子供たちが失敗を恐れずに自分の『好き』を追求できる環境づくりにつながることを切に願っています。特に、既存の評価規準にとらわれない新しい学びの指標づくりや、多忙な現場を支えるDXの推進にも、併せて注力していただければ幸いです。	計画全体の実現に当たって、貴重な御意見として受け止めてまいります。なお、いただいた具体的な御意見につきましては、計画の実施段階において参考とさせていただきます。

12	専門用語が多く、用語解説が4分の1を占め、一般市民には分かりにくいと感じる。	ご意見を受け止め、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、留意してまいります。
13	「働き方改革」を掲げる一方で、新しい教育内容が盛りだくさんの印象を受ける。現場の教員の多忙化を招くのではないかという懸念がある。	方針1の施策や取組の実現に当たって、貴重な御意見として受け止め、学校現場の多忙化につながらないよう工夫して取り組んでまいります。
14	「戸田型 PBL」「戸田型インクルーシブ教育」など、「戸田型」をつける市独自の定義に基づいたモデルが、一般的な概念と乖離しないか懸念である。	ご意見を受け止め、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、留意して行なってまいります。
15	完成の暁には、イラストやカラーリングをさらに工夫して親しみやすいビジュアルになることを期待します。	いただいた具体的な御意見につきましては、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、参考とさせていただきます。
16	教育理念「好きを育み 得意を伸ばす 戸田の教育」がとてもわかりやすくなりました。シンプルがゆえに、おぼえやすく、何かをする上で大切な基準を示していることがわかります。また、自分にとっての「好き」「得意」とは何かを考える機会になっていることも良いと思います。市内の各所にのぼり旗を立てたり、駅などの施設や公共施設ではバナーで紹介したりしたいです。	いただいた具体的な御意見につきましては、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、参考とさせていただきます。
17	方針2について、誰一人取り残されないための項目が数多く明記されていますが、それを実現させるための予算及び人材の確保を期待します。	方針2の施策や取組の実現に当たって、適切な予算及び人材の確保に努めてまいります。

18	方針3について、紙面上の面積が狭いせいか、印象が薄くなる気がします。部活動の地域展開は、市民にとって教育内容以上に関心が高いと思われますので、策定の際はぜひ、強調してください。	いただいた具体的な御意見につきましては、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、参考とさせていただきます。
19	方針4は、各施策の成果を見るために極めて重要だと思います。見やすさにこだわることを期待します。	いただいた具体的な御意見につきましては、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、参考とさせていただきます。
20	第5次戸田市教育振興計画は、市内小中学校の児童生徒の意見を聞いて作成したものです。「児童生徒と一緒に作った第5次戸田市教育振興計画」だということが、目立つようにすると思います。	いただいた具体的な御意見につきましては、本計画の策定後、市民に向けた計画の広報を実施していく際に、参考とさせていただきます。
21	方針2について、多様なニーズに応じた学びの推進・多様な支援体制の充実に係る相談先の周知をどのように進めていくのか教えていただきたいです。対象者と様々な取組のマッチングを行うにあたって、保護者から希望が出やすく、学校から紹介しやすいような資料を整えていただけると幸いです。	周知の在り方については、方針2の主な施策である「多様な支援体制の充実」に取り組む際に、具体的にお示しするとともに、資料の作成については、保護者、学校双方にとって利便性のあるものの作成に努めてまいります。
22	方針1にある「デジタルシティズンシップの視点を含めた、情報活用能力の向上」は今後の社会にとっても大切な能力になると思います。そのため、「ICTやテクノロジーを活用した指導力の向上」がとても大切になると考えられます。児童・生徒よりも高く新しい知識を見つけるための研修などがあるとよいと思います。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針1における「ICTやテクノロジーを活用した指導力の向上」の取組の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。

23	方針3にある「部活動の地域展開」について、現在部活動の生徒の受け入れ先が見つかりにくい状況にあるので、「スポーツや文化芸術活動の推進」といった取組も踏まえ、地域のスポーツチームや文化団体へ、場所やお金等の支援をお願いしたいです。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針3における「部活動の地域展開」や「スポーツや文化芸術活動の推進」の取組の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。
24	方針4の施策全体を支える様々な基盤の整備・充実のために、『戸田市の教職員への働き方改革』も盛り込んで周知していただきたい。スクラップ&ビルドの観点を入れていただきたい。	方針4については、学校教育のみならず、社会教育等を含めた施策全体を支える基盤であることから、スクラップ&ビルドを含めた働き方改革に係る施策については方針1に設定し、推進してまいります。
25	中学校の平日の部活動については、勤務時間を超過しての活動が多い。教科指導や生徒指導、教育相談を充実させることや教職員の在校等時間を減らすためにも、部活動指導員の配置を増やしていただきたい。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針1における「学校の指導運営体制の充実と学校・地域が一体となって取り組む働き方改革の加速化」の取組の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。
26	子供等の意見反映の指標を単なる「パブリック・コメントの意見数」という量的な把握に留めず、AI等を活用し「ブロードリスニング」を導入することで、多数決でこぼれ落ちる少数意見や潜在的なニーズを可視化・分析し、教育政策への実質的な反映プロセスをより精緻に構築すべきです。	いただいた具体的な御意見につきましては、モニタリング指標への反映が難しいことから、方針2における「こども等が意見を表明する機会の確保と意見の反映」の取組の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。

27	EBPM の核となる「教育総合データベース」の利活用について、成田悠輔氏が提唱する視点に基づき、アンケート等の主観データに加え、学習ログ等の実行動データから個々の「好き・得意」を検知、分析し、最適な PBL や教材をレコメンドするなど「データによる教育の個別最適化」を一層強化してください。デジタル技術とデータを駆使して民主主義をアップデートし、一人一人が「自らの人生を舵取り」できる教育改革の社会実装を期待します。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針 4 における「教育総合データベースの整備と教育データの利活用の推進」の取組の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。
28	計画の記述について、抽象的な表現でまとめられていると感じています。是非計画を具体化し進めていく際には、児童生徒から聞いた意見の具体的な部分も取り入れてもらえるとうれしいです。	第 2 回戸田市教育振興計画策定委員会において、市内全小・中学校の代表児童生徒からいただいた具体的な御意見につきましては、計画の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。
29	多様性を大切にしつつ、協調性、忍耐力を身に付ける教育を戸田市独自のカリキュラムとして検討いただきたい。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針 1 の主な施策である「これからの社会で求められる資質・能力を育成する学びの推進」に取り組む際に、各具体的な取組をよりよいものに改善していくための参考とさせていただきます。
30	通常学級、特別支援学級及び福祉機関の連携を強化するとともに、発達障害等に関する理解促進の研修を実施し、学校内の支援スタッフ（支援員、スクールカウンセラー等）の配置の充実を図ってほしい。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針 2 の主な施策である「多様なニーズに応じた学びの推進」及び「多様な支援体制の充実」に取り組む際に、各具体的な取組をよりよいものに改善していくための参考とさせていただきます。

31	学力も大切であるが、学力だけでなく個性や得意分野を尊重するようなカリキュラム等を作成してほしい。	いただいた具体的な御意見につきましては、方針１の具体的な取組である「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の推進」の実施段階において、よりよい取組に改善していくための参考とさせていただきます。
----	---	---